



製品安全データシート

1. 化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
 東京都中央区日本橋本町4-3-8
 担当
 TEL(03)3270-2701
 FAX(03)3270-2720
 緊急連絡 同上
 改訂 平成18年6月12日

化学物質等のコード : 0336-9359

化学物質等の名称 : ナフテン酸コバルト10%

2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 有害性物質
 危険性 : 火気その他の点火源により引火するおそれがある。
 強酸化性物質と混合したとき着火するおそれがある。
 密閉状態で加熱すると爆発するおそれがある。
 引火性固体(消防法:非危険物、指定可燃物、可燃性固体類)
 有害性 : 皮膚に対して感作性と刺激性を有する。
 眼に入ると異物感を与える。飲みこんだり、吸引したり、
 あるいは皮膚に触れると有害の可能性がある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名 : ナフテン酸コバルト
 成分及び含有量 : Coとして10%
 (その他ナフテン酸銅約90%)
 化学式または構造式 : (RCOO)₂Co
 分子量 :
 官報公示整理番号(化審法): (8)-630
 構造別分類コード(労安法):
 CAS No. : 61789-51-3
 EINECS No. : 2630640
 RTECS No. : QK8925000

4. 応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
 吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
 口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
 皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 多量の水でうがいし、可能であれば吐き出させる。
 必ず医師の手当を受ける。

5. 火災時の処置

消火方法 ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
 ・延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。
 ・消火作業は風上から行う。
 消火剤 粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、乾燥砂、泡消火器

6. 漏出時の措置

・飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。飛散したものは、できるだけ掃き集めて、空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
 ・以上の処置の際は付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
 ・流出したものが河川等へ排出され環境への影響を起こさないよう注意する。
 (水質汚濁防止法:環境保全物質)

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。

取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散させないようにする。
高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触をさける。
使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。

保管上の注意
容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵する。
「保管場所の電気設備は防爆構造とし、強酸化性物質等と同一場所に置かない。」

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。
許容濃度
日本産業衛生学会 : 0.05mg(Co)/m³
ACGIH : TWA 0.02mg(Co)/m³
OSHA : STANDARD-air:TWA 0.1mg(Co)/m³(fume and dust)

設備対策
・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具
・状況に応じ、有機ガス用保護マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 赤紫色固体
溶解度 水に不溶
密度 0.9

10. 安定性及び反応性

引火点 : 141
安定性・反応性 通常の取扱いにおいては安定(約60℃で軟化する。)
分解性 酸、アルカリにより分解する。
混触等 酸、アルカリにより分解する。
発火温度 : 276
流動、攪拌などにより静電気が発生することがある。
粉末、顆粒状で空気と混合すると粉塵爆発の可能性
がある。加熱すると有毒なフューム発生する。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性
急性毒性
LD50(経口)ラット 3900 mg/kg(ナフテン酸コバルト)
亜急性毒性 データなし
慢性毒性 データなし
刺激性(皮膚、眼) : 長期使用において、皮膚炎が生じたとの報告あり。
感受性 : データなし
変異原性 : 報告なし。
変異原性(微生物、染色体異常) : データなし
皮膚腐蝕性 : データなし
がん原性 : IARCグループ2B(人に対して発がん性
があるかも知れない)
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし
安全管理上の留意事項: データなし
その他 : データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)
: データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- ・取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意による。
- ・廃棄する場合は、酸で溶かして油分と水溶液に分離する。油分は焼却処理、水溶液はアルカリにより沈殿濾過後、廃棄処分する。なお、多量の場合は専門業者に委託することが望ましい。
- ・河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
(水質汚濁防止法:環境保全物質)

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : データなし

海上輸送 : データなし

航空輸送 : データなし

国連分類番号 : 4.1等級

国連番号 : 1993

15. 適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び

管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)別表第一

労働安全衛生法 施行規則別表第一に基づく有害物を指定する告示。有害物。

消防法 非危険物 指定可燃物 可燃性固体

水質汚濁防止法 環境保全物質

16. その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)

化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編

化学大辞典 共同出版

安衛法化学物質 化学工業日報社

産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版

化学物質安全性データブック オーム社

公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版

化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修

中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。